



Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

テクノスマート (6246)

**2023年3月期
通期決算説明資料**



<https://www.technosmart.co.jp/>

2023年3月期通期決算概要

Techno Smart

第3四半期時点での業績予想修正に対し計画通りの着地。原価低減施策を通し利益率が大きく改善

(百万円)	22年3月期 実績	23年3月期 実績	計画比*	24年3月期 計画
受注高	26,603	22,017		
前年比	+58.6%	△17.2%		
売上高	16,939	19,677	+377	20,000
前年比/計画比	+109.4%	+16.2%	+2.0%	+1.6%
営業利益	1,642	2,232	△68	2,200
営業利益率	9.7%	11.3%	△0.6pt	11.0%
前年比/計画比	+95.5%	+35.9%	△3.0%	△1.4%
経常利益	1,692	2,277	△73	
前年比/計画比	+85.2%	+34.5%	△3.1%	
純利益	1,164	1,607	+27	
前年比/計画比	+100.8%	+38.0%	+1.7%	
受注残高	24,463	26,803		
前年比	+65.3%	+9.6%		
ROE	6.8%	8.9%		
1株あたり配当金	35円	74円		76円

*2023年2月10日発表の修正予想に対する計画比

2023年3月期概況

- ✓ 受注は納期の長期化で一部受注できなかった案件はあったものの、前年のような大型案件がない中でも**220億円の受注を達成**
- ✓ 概ね第3四半期決算発表時に修正した業績予想に対して計画通りの着地。設計仕様や案件に応じた製造工程の効率化による**原価低減施策により利益率が大きく改善**。ROEは8.9%まで上昇
- ✓ 海外受注に加え、新製品用の新規設備に対して国内メーカーの設備投資意欲向上が見られ、これまで**低迷気味であった国内受注が増加**

2024年3月期見通し

- ✓ ディ스플레이・電池業界の市況に起因する不透明感はあるものの、顧客業界の投資は前期に引き続き**一定の水準が継続する見込み**
- ✓ 顧客の多い中国において2022年末にゼロコロナ政策が終了し、事業環境は急激に**コロナ前の状況に戻りつつある**認識
- ✓ 長期的な成長に向け**二次電池市場に向けた展開を強化**
- ✓ 案件ミックスの変化により営業利益率が僅かに低下する見込みだが原価低減施策等を通して**現在の11%水準を維持**する目標

1

会社概要及び中計概要

2

2023年3月期実績

3

2024年3月期見通し

4

Appendix

1

会社概要及び中計概要

2

2023年3月期実績

3

2024年3月期見通し

4

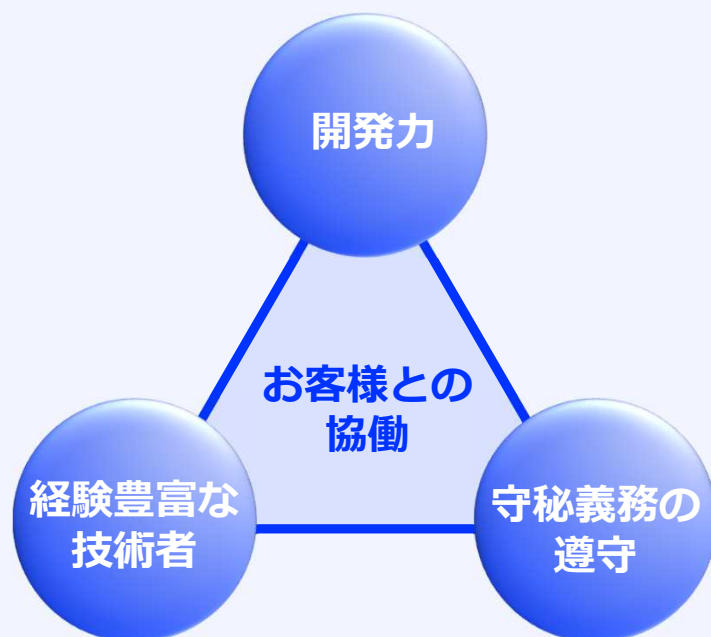
Appendix

会社概要

Techno Smart

常にお客様を第一とし
ベストソリューションを提供し続ける
コーティング・乾燥技術のプロ集団

「こんな商品を！」の声に応える新商品開発サポート



豊富な経験と先端の知識を備え
お客様のコミュニケーションを
基点に動く技術者集団

万全なお客様機密情報の保護

会社名	株式会社テクノスマート (Techno Smart Corp.)
事業内容	製造業向け塗工・乾燥装置の製造・販売
創業	1912年6月15日
資本金	19億5,393万円
所在地	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目5-28 久太郎町恒和ビル2階
従業員数	234名 (2023年3月末時点)
生産拠点	【滋賀事業所】滋賀県野洲市大篠原3200番地

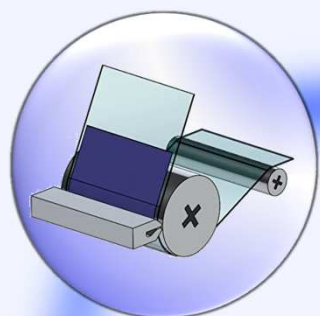
▼滋賀事業所



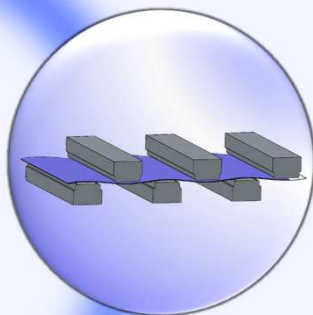
モノ作りにおける「塗る」「乾かす」「巻き出す・巻き取る」に対するベストソリューションの提供

塗工プロセスに必要な要素全てを自社製品でカバー

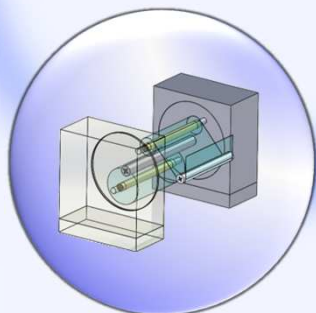
顧客のニーズに合わせた最適な生産ラインを提案・構築



塗る



乾かす

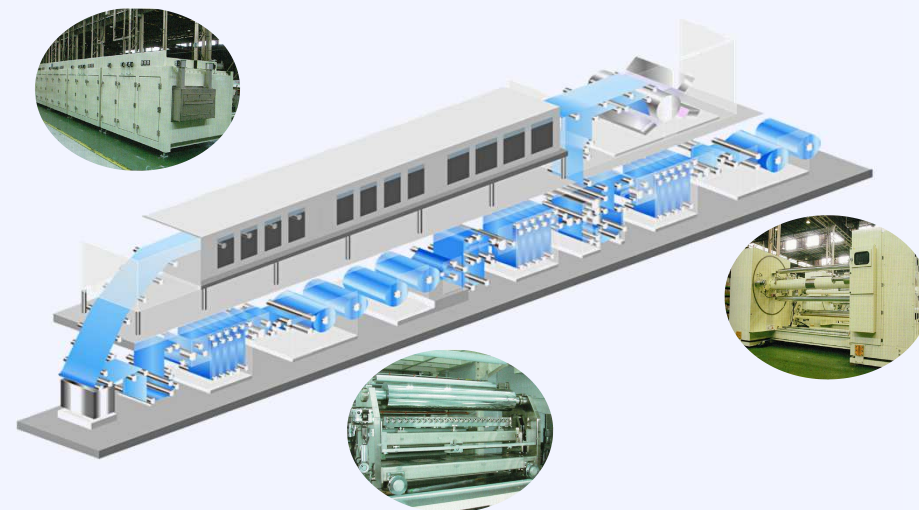


巻き出す・巻き取る

使用する材料

ラインの
生産性

コーティング
の精度



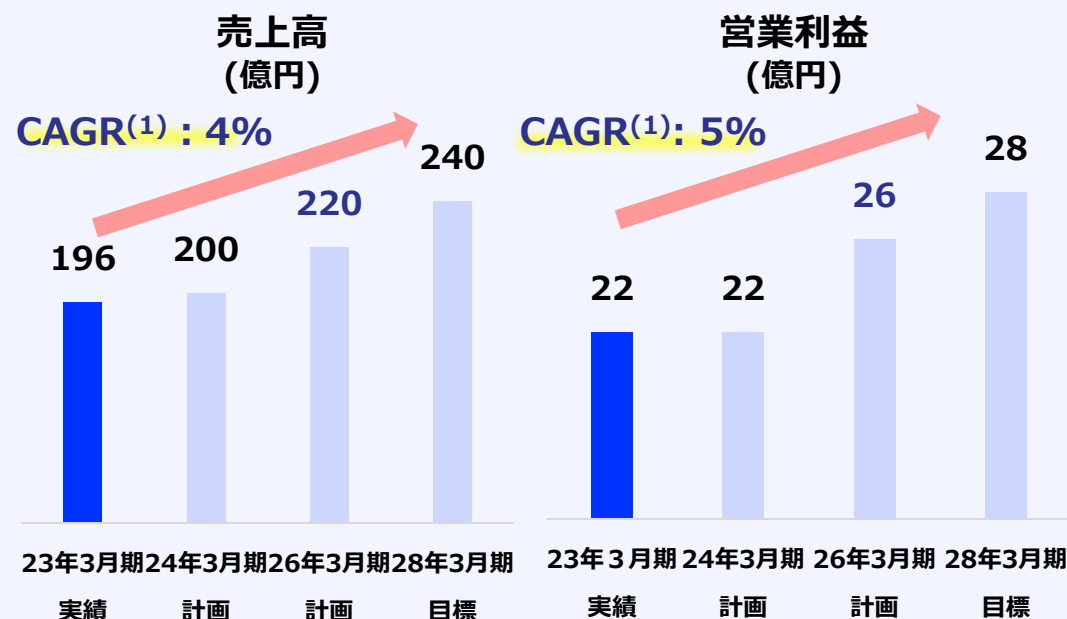
塗工プロセスで要求される様々な要素を
最大限に満たす生産ラインを設計・構築

企業価値向上戦略 – 事業戦略及び数値目標

Techno Smart

事業基盤の強化に取り組むと同時に、長期的な成長に向け二次電池市場に向けた展開を強化
また、企業価値創出の重要指標としてROEを含めた目標数値を設定し、財務戦略の見直しを図る

目標	主要施策
① 車載用二次電池市場向けを中心に、エネルギー領域での成長を加速	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Dürr社(独)との提携を通じた欧州展開強化
② 納期の長期化の解消と技術力強化を通じた競争力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 設計者の採用強化 ✓ 生産・研究開発投資の拡大
③ コロナ禍で停滞した海外戦略の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 海外訪問強化 ✓ 営業人材の採用強化 ✓ アフターサービス拡充
④ 資本効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 財務戦略の見直しによるROEの改善



ROE目標 23年3月期実績 **8.9%** → 28年3月期以降 **10%以上**

(1) Compound Annual Growth Rate (年平均成長率)。23年3月期実績および28年3月期目標に基づく

中期経営計画重点戦略① (3月24日発表再掲)

Techno Smart

2020年に業務提携を行うもコロナ禍を背景に十分な連携が取れなかったDürr社(独)との取組を推進実績があり、中国に続き生産が立ち上がっていくと見込まれる欧州における展開を強化

独Dürr Systems AG社との連携強化

欧州で実績があるDürr社との協業により欧州展開を強化



Dürr Systems AGについて

- ✓ 独Dürrグループ傘下 (フランクフルト証券取引所上場)
 - Dürrグループ 全体売上 43億ユーロ
 - Dürrグループ 全体従業員数 18,500人
- ✓ 自動車産業向けに塗装・組立・大気汚染防止装置を製造
グローバルの自動車メーカーと強固な結びつき
- ✓ 2020年9月に当社とLiB用電極コーティングラインの製造・販売に関する業務提携を締結



画像出典：Dürr

- ✓ 2020年9月に提携開始もコロナ禍で連携が進まず
- ✓ 2022年4月にコロナ隔離の緩和から契約後初めて対面会議を実施
- ✓ 価格戦略や部材調達などにおいて改めて連携を強化し、成長が期待される欧州での案件獲得を目指す



中国



欧州

生産台数	546.7万台 (2022) ⁽¹⁾	50万台 (2020) ⁽²⁾
生産台数見通し (参考)	--	330万台 (2025) ⁽³⁾ 670万台 (2030) ⁽³⁾
状況	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在の生産シェアでは最大 ✓ セパレータ以外では価格・納期の面で中国・韓国塗工機メーカーに劣後しており、課題が残る 	<p>EU域内での生産はこれから大きく立ち上がっていく見込み</p>

各出典：(1) マークラインズ (2) ACEA (3) Transport & Environment

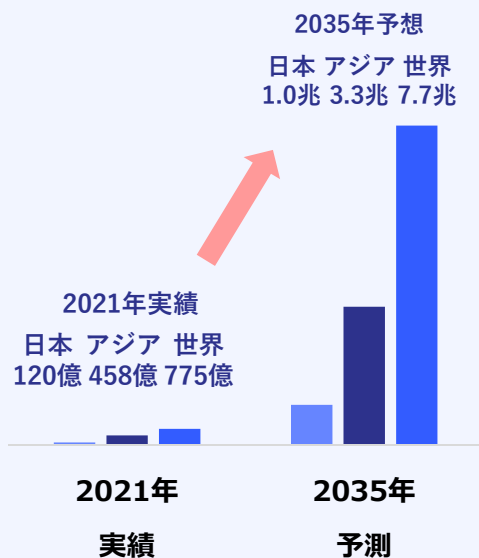
中期経営計画重点戦略② (3月24日発表再掲)

Techno Smart

成長戦略の主軸としてのEV関連に加え、将来のエネルギー活用に関連した市場への展開は多方面に向け継続
新実験棟の建設や採用等、現状の課題となるリードタイムの長さの解消につながる投資を行う

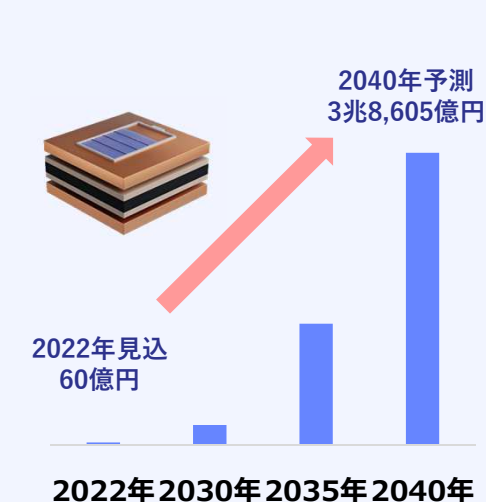
二次電池市場に向けた展開を強化

FCV向け燃料電池システム市場予想



出典) 富士経済

全固体電池の世界市場予測



出典) 富士経済

試作機の受注獲得に向け営業を継続

中長期的な生産投資拡大に向け
研究開発と関連メーカーへの提案を推進

営業力の強化

新実験棟の建設着手

完成予想図



設備投資額 約10億円
竣工予定 24年2月
稼働開始予定 25年1月

- ✓ 新実験棟においては実験用クリーンコートを増設予定
- ✓ テストの実施能力は従来の倍になる見込み
顧客のテスト待ちの期間を短縮し
早期の受注獲得に繋げる



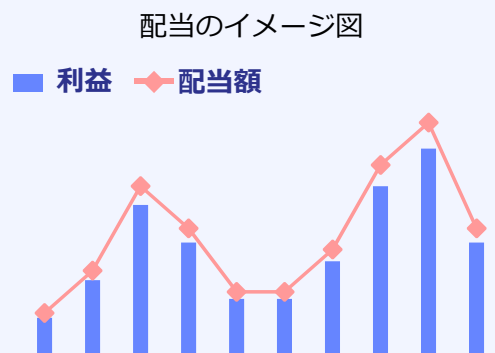
その他にも設計人員の採用強化や
海外向け営業の強化などに取り組む計画
課題の解消を通し競争力強化につなげる

株主還元の方針変更

当社の特性を踏まえ、株主還元の主要指標としてDOE (自己資本配当率) を採用し安定的な配当の実現を目指す
 今中計期間ではDOE 5%以上を目標にし、将来的な増配を通じた株主還元に取り組む

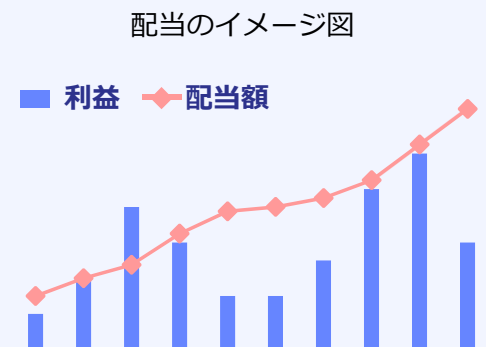
従来

- 配当性向 30%以上
DOE 1%以上を目安
- 配当額が利益変動に伴い変動



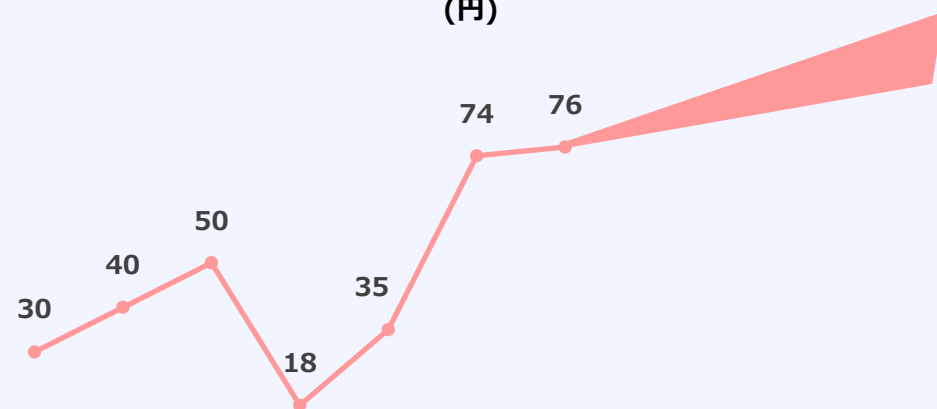
今後

- **DOE 5%以上を目安**
- 自己資本の積み上げに伴い増配
= **黒字継続で増配基調**
- 機動的な自己株買いも



DOE 5%水準の安定配当

1株当たり配当額 (円)

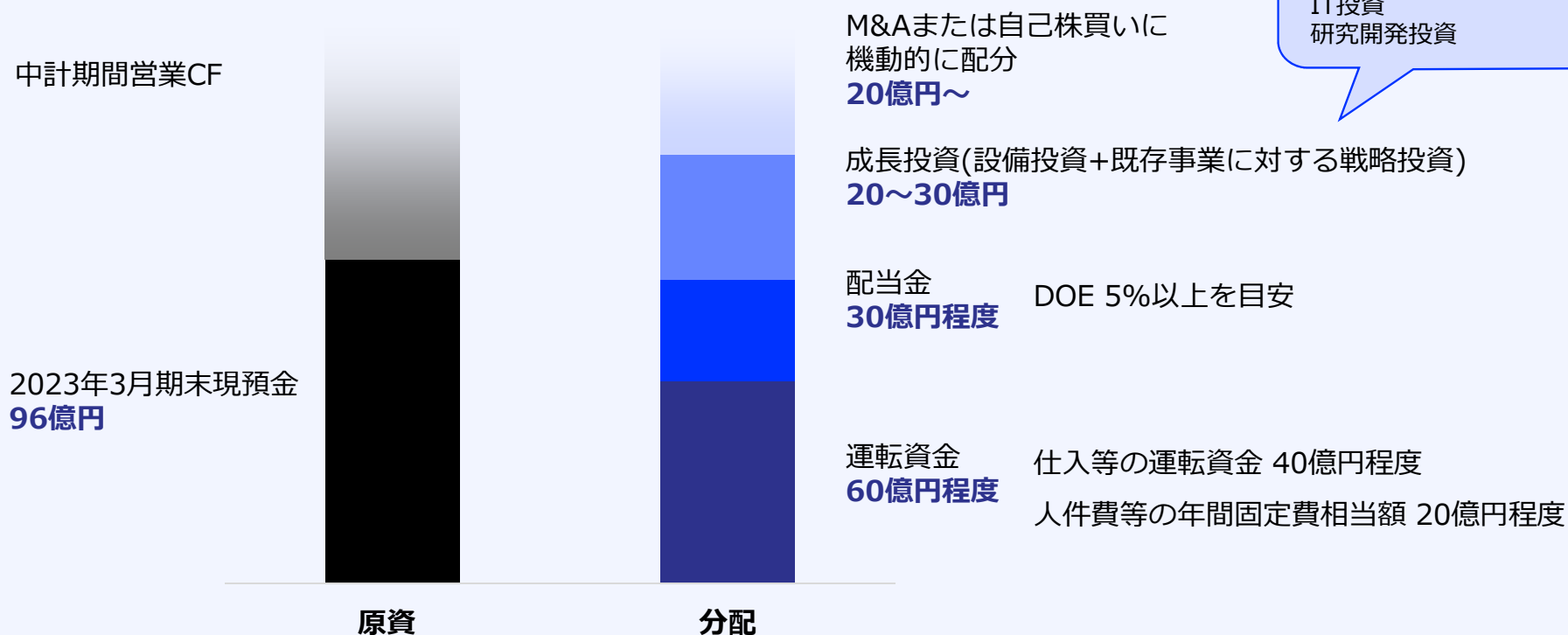


18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	26年	28年
30	40	50	18	35	74	76		
3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	3月期
					計画	計画	計画	目標

事業運営に必要な現預金の水準を、固定費と運転資金の変動見通しから策定。また、策定した水準を踏まえて、余剰現預金と、中計における営業CF見通しから、中計期間のキャピタル・アロケーションを策定

キャピタル・アロケーション方針

(24年3月期～26年3月期)



1

会社概要及び中計概要

2

2023年3月期実績

3

2024年3月期見通し

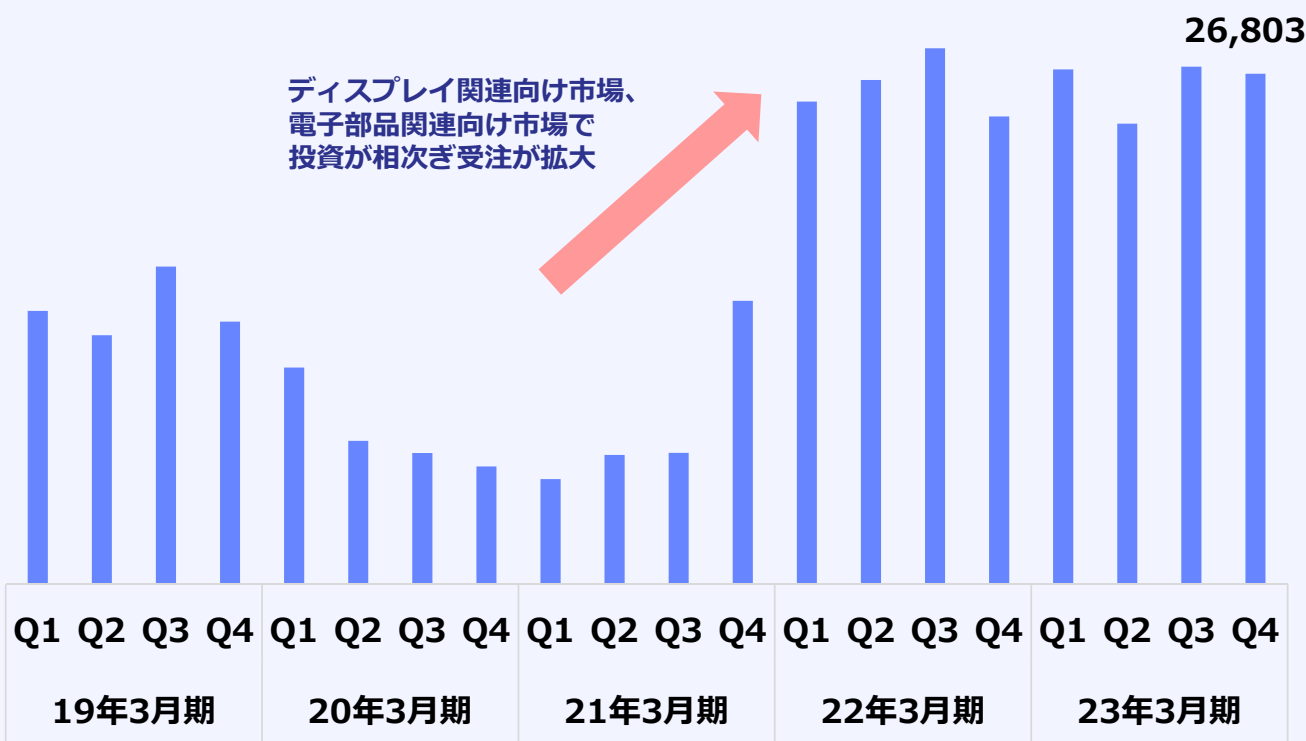
4

Appendix

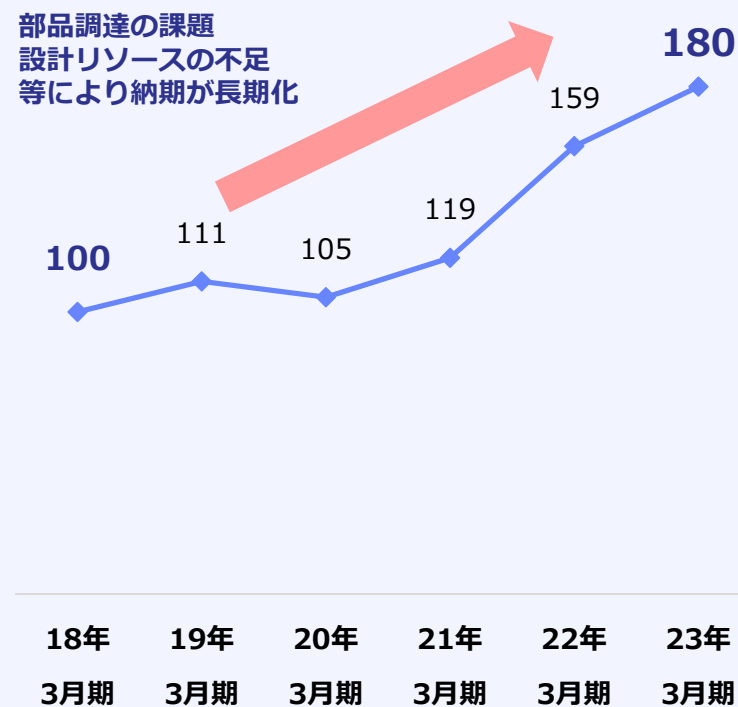
半導体に絡む電気部品の長納期化は続いており、リードタイムの伸長は改善せず依然高水準の受注残高が続く

受注残高
(百万円)

ディスプレイ関連向け市場、
電子部品関連向け市場で
投資が相次ぎ受注が拡大

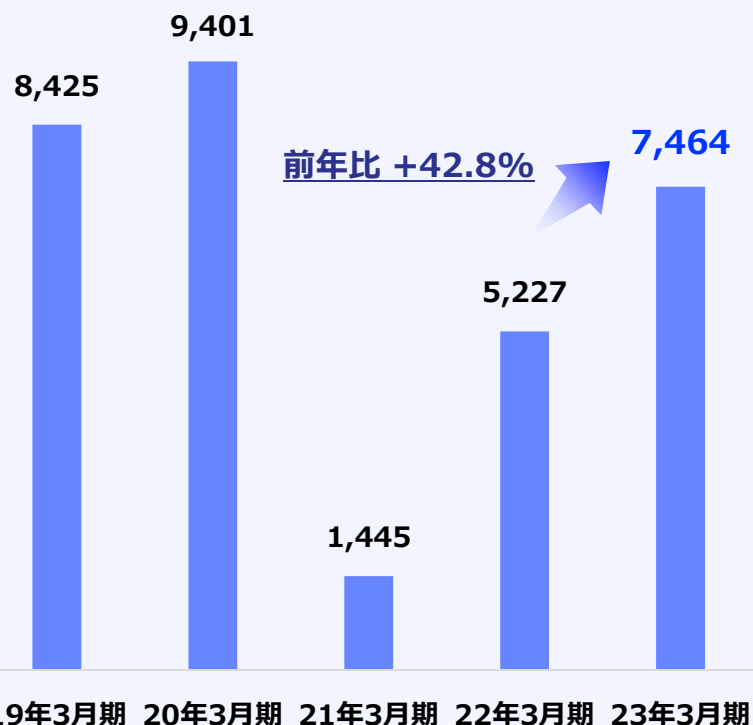


リードタイム推移
(18年3月期 = 100)



受注案件が順調に進捗し、ディスプレイ関連事業の売上は大きく成長
24年3月期は顧客の大型投資一巡も引き続き先を見据えた投資を捉え事業規模の維持を目指す

ディスプレイ部品関連機器売上高
(百万円)



2023年3月期概況

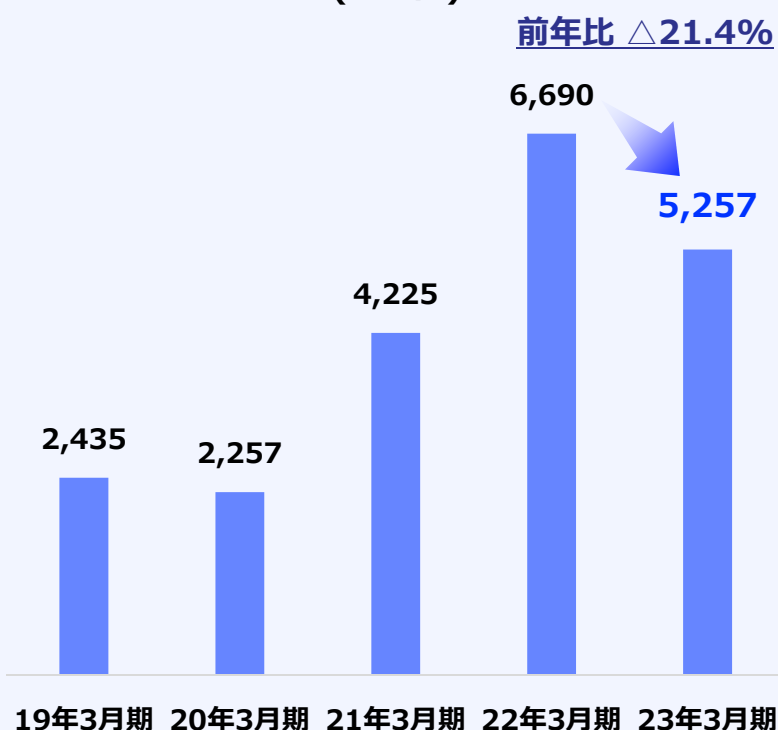
- ✓ 2023年3月期は2022年3月期に受注した大型案件が売上・利益ともに大きく貢献。2020年3月期等のコロナ前水準までは回復せずとも前年比42.8%と大きく改善

2024年3月期見通し

- ✓ 短期的にはディスプレイに関する大型投資案件は一巡する見込み。一方で、2年先以降を見て資金力のある顧客は投資継続の動きがあるため引き続き案件の確保に取り組み、事業規模の維持を目指す

大型案件の剥落により昨対比では減収
引き続きMLCC関連業界の長期的な成長を見据えた設備投資需要を期待

機能性フィルム部品関連機器売上高
(百万円)



2023年3月期概況

- ✓ 大型案件の剥落により2022年3月期からは21.4%の減収
- ✓ MLCC市場については昨年末頃から市況が低迷する一方、
当社の携わるフィルム加工工程においては国内客先中心に**投資の動きが継続**
- ✓ MLCC関連業界以外からの受注が増加

2024年3月期見通し

- ✓ 引き続きMLCCの増加見通しに伴う顧客の**設備投資需要は安定的**
- ✓ 23年3月期に獲得したMLCC関連以外の業界からの受注が
売上に貢献し始める見通し

車載用二次電池の増産投資が世界的に旺盛な中、当社の関連する領域でも投資が拡大
中期経営計画における成長軸として積極的な営業を継続

エネルギー関連機器売上高
(百万円)



2023年3月期概況

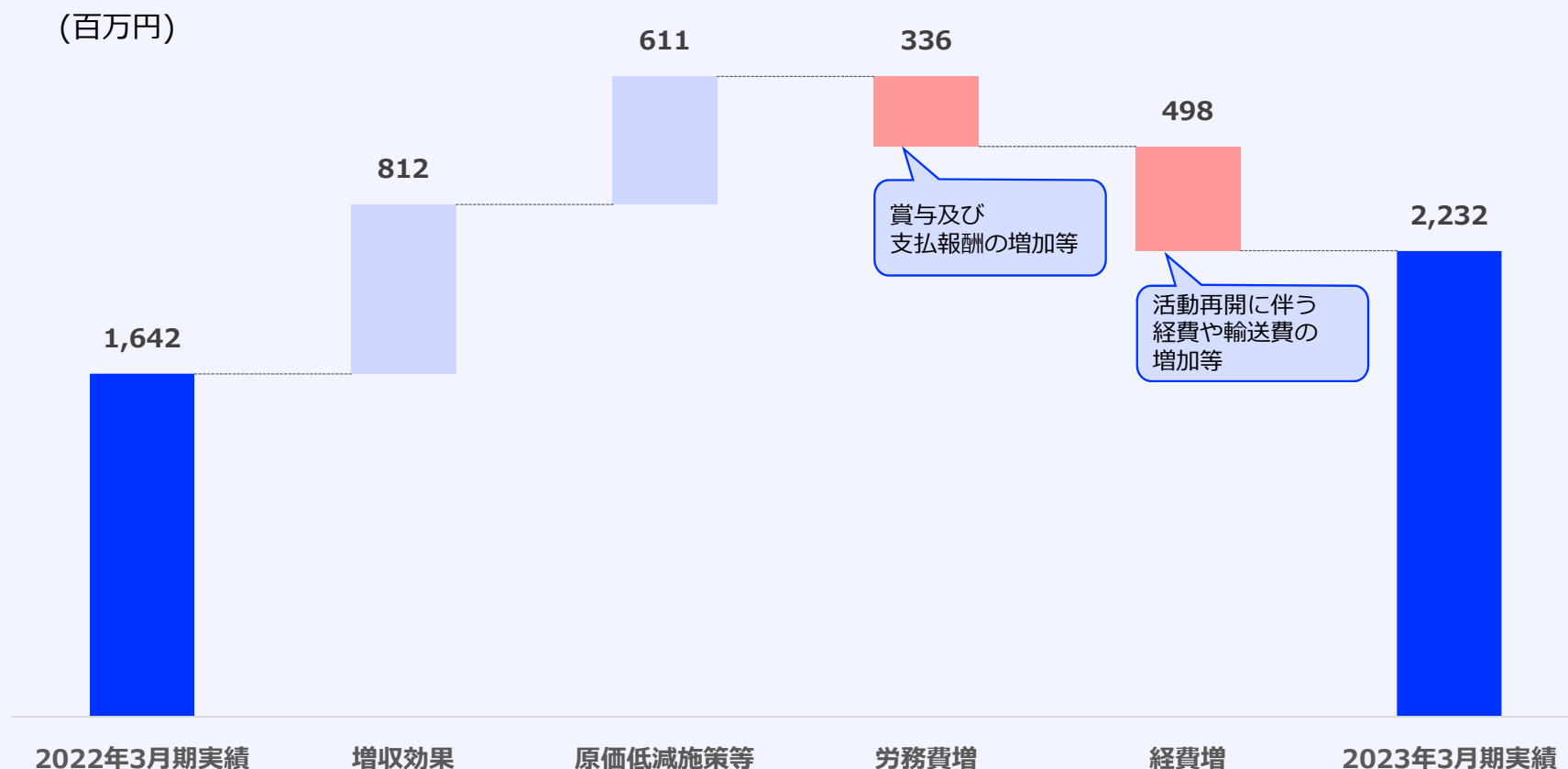
- ✓ 車載用二次電池向けのセパレータフィルム領域が売上成長をけん引
前年比で76.9%の成長
- ✓ 特定顧客について、当社の得意とする領域でまとまった受注を獲得

2024年3月期見通し

- ✓ リチウムイオン電池の市況が短期的に悪化しており、製品在庫の増加からメーカーの工場稼働率の低下や販売価格の低下が進む
- ✓ 一方で、**長期的な成長を見据えて一定の投資は存在**。引き続きそういった顧客へのアプローチを続け、案件獲得に取り組む
- ✓ 顧客の海外展開に伴い**欧州や北米での案件獲得に向けた準備も継続**
- ✓ 次世代電池としての全固体電池に関する投資も見え始めており
長期的な成長に向けた**案件獲得と事業領域の拡大に取り組む**

2023年3月期実績 営業利益の増減

増収や原価低減施策に伴い増益を実現
一方、事業活動の活発化に伴う賞与や経費の増加及び世界的に高騰する輸送費の増加が主要な費用増



1

会社概要及び中計概要

2

2023年3月期実績

3

2024年3月期見通し

4

Appendix

2024年3月期通期決算見通し

Techno Smart

2024年3月期は案件ミックスの変化により利益率低下の見通し
中期経営計画達成のため、長納期化解消や事業領域拡大に向けた投資を計画

	23年3月期	24年3月期
(百万円)	実績	計画
受注高	22,017	—
前年比	△17.2%	—
売上高	19,677	20,000
前年比	+16.2%	+1.6%
営業利益	2,232	2,200
営業利益率	11.3%	11.0%
前年比	+35.9%	△1.4%
経常利益	2,277	—
前年比	+34.5%	—
純利益	1,607	—
前年比	+38.0%	—
受注残高	26,803	—
前年比	+9.6%	—
ROE	8.9%	—
1株あたり配当金	74円	76円

ディスプレイ

- ✓ 短期的にはディスプレイに関する大型投資案件は一巡する見込み。
一方で、2年先以降を見て資金力のある顧客は投資継続の動きがあるため
引き続き案件の確保に取り組み、事業規模の維持を目指す

機能性フィルム

- ✓ 引き続きMLCCの増加見通しに伴う顧客の設備投資需要を期待
- ✓ 23年3月期に獲得したMLCC関連以外の業界からの受注が
売上に貢献し始める見通し

エネルギー

- ✓ 長期的な成長を見据えて一定の投資は存在。引き続き案件獲得に取り組む
- ✓ 顧客の海外展開に伴い欧州や北米での案件獲得に向けた準備も継続
- ✓ 次世代電池向け投資需要の獲得に向けた取り組みも継続

株主還元

- ✓ 中期経営計画におけるDOE 5%目標をベースに継続的な株主還元を実施

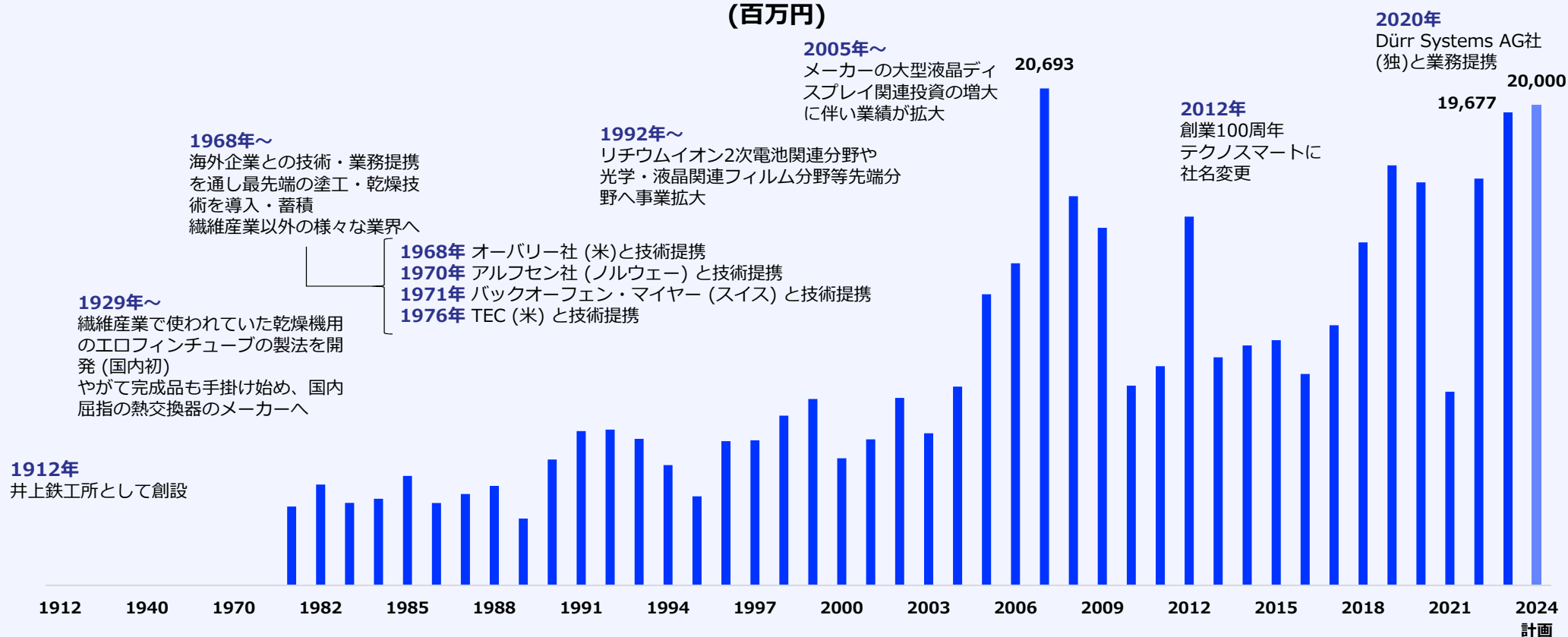


Techno Smart

Appendix

1912年に創業。繊維産業向け乾燥機のエロフィンチューブの開発以来、様々な業界の塗工・乾燥のプロセスに関するソリューションを手掛ける

売上高の推移 (百万円)



現在はディスプレイ、機能性フィルム関連、電子部品関連、エネルギー関連で9割超を占める

① ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置



顧客製品：
偏光フィルム、ARフィルム 等

関連製品・最終製品：
液晶テレビ、スマートフォン 等

② 機能性フィルム関連塗工機器(1)

一般産業資材用のフィルム用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置

顧客製品：
離形フィルム等

関連製品・最終製品：
MLCC、電子機器 等



③ 電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置



顧客製品：
FPC 等

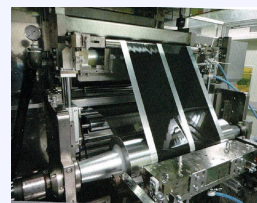
関連製品・最終製品：
スマートフォン 等

④ エネルギー関連

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置
また、塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器

顧客製品：
LiB、太陽電池 等

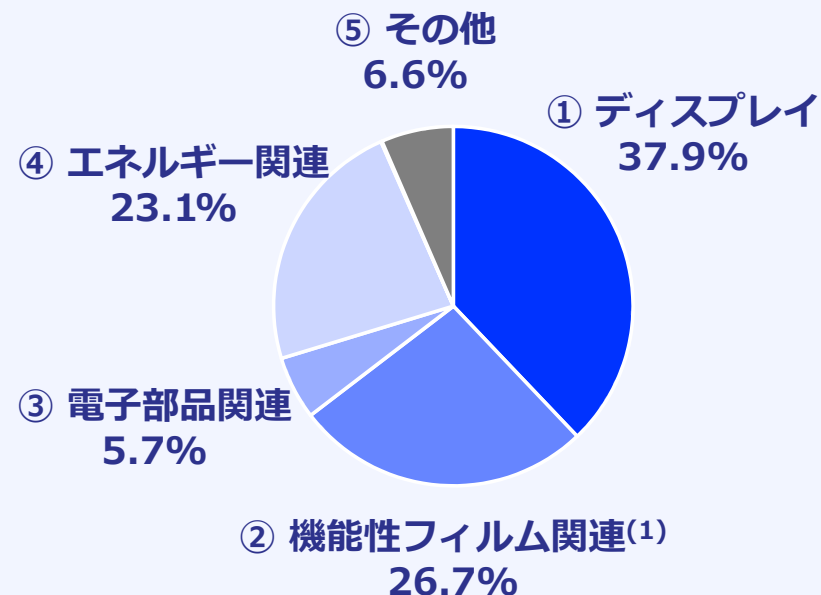
関連製品・最終製品：
スマートフォン、EV 等



⑤ その他

高機能性繊維・不織布関連装置 (0.1%) 及び①～④を含む各種関連機器の部品製造・改造・修理 (6.5%)

製品セグメント別売上高構成比
(2023年3月期ベース)

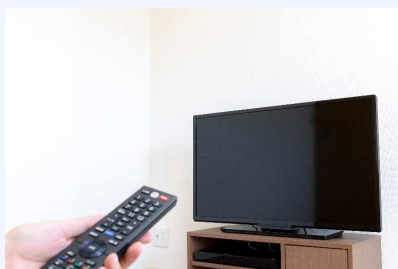


(1) 従来の「機能性紙・フィルム関連塗工機器」セグメントについて、実態を考慮しセグメント名を「機能性フィルム関連塗工機器」に修正。なお、紙関連を当該セグメントに計上することは変わらず

テクノスマートの機械で作られる最終製品

Techno Smart

生活に欠かせない様々なものの製造で塗工プロセスが必要とされている



液晶テレビ



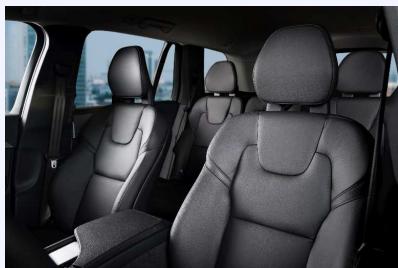
スマートフォン



太陽電池



不織布 (おむつ)



レザーシート



エアバッグ



車載用リチウムイオン電池



粘着テープ



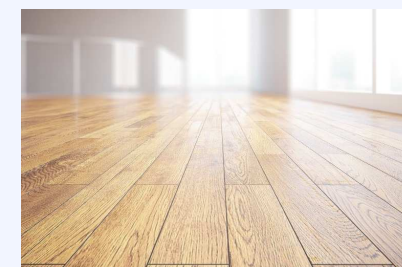
フレキシブルプリント基板



医療用経皮吸収パッチ



修正テープ



フローリング風床材

顧客第一の姿勢のもと、お客様の求める要素を全て実現し、技術に支えられた高品質なソリューションと永続的なアフターフォローを通して高い顧客満足を実現

ヒアリング・営業



お客様とのコミュニケーションを通じて課題を発見。新商品開発や提案に繋げる

企画・設計



引き合いを頂いたお客様との打合せに基づいて下調べを行い、図面・仕様書を作成

製造・据付



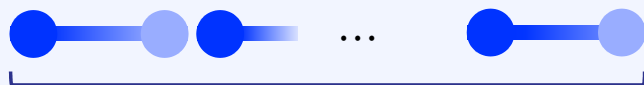
お客様の工場で実際に製造ラインを据付し、試運転を重ねて求められている水準を実現

アフターフォロー



納品後も永続的なアフターフォローに取り組み、更なる顧客満足度の充実に努める

一般的なリードタイム



1~3か月/回程度の
見積もりを繰り返し
お客様の求める設計に

1年~1年半

永続的なフォロー

損益計算書 (通期)

Techno Smart

(百万円)	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期
受注高	11,274	7,967	7,961	16,067	18,553	18,666	9,179	16,771	26,603	22,017
受注残高	6,202	3,959	3,113	8,343	12,611	13,785	6,180	14,881	24,463	26,803
売上高	9,994	10,211	8,807	10,837	14,285	17,492	16,785	8,069	16,939	19,677
売上原価	8,058	9,155	7,879	9,116	12,215	14,271	12,632	6,648	14,472	16,502
売上総利益	1,936	1,056	927	1,721	2,070	3,220	4,153	1,421	2,466	3,174
売上総利益率	19.4%	10.3%	10.5%	15.9%	14.5%	18.4%	24.7%	17.6%	14.6%	16.1%
販売費及び一般管理費	708	597	615	713	807	872	1,049	585	823	941
営業利益	1,228	458	311	1,008	1,262	2,347	3,103	836	1,642	2,232
営業利益率	12.3%	4.5%	3.5%	9.3%	8.8%	13.4%	18.5%	10.4%	9.7%	11.3%
営業外収益	45	70	44	45	44	45	46	80	60	56
営業外費用	14	12	12	21	25	12	7	6	11	11
経常利益	1,259	516	343	1,032	1,281	2,380	3,142	909	1,692	2,277
特別利益	0	0	9	0	0	0	0	26	0	0
特別損失	0	0	7	5	10	15	165	20	7	2
税引前当期純利益	1,259	516	345	1,027	1,271	2,364	2,976	915	1,685	2,275
法人税等	539	213	135	335	380	738	942	338	521	668
当期純利益	719	303	209	692	890	1,626	2,033	576	1,164	1,607

損益計算書 (四半期)

Techno Smart

(百万円)	21年3月期				22年3月期				23年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	1,561	3,048	1,801	10,359	12,243	4,999	6,547	2,813	7,949	2,490	8,383	3,195
受注残高	5,449	6,708	6,811	14,799	25,344	26,480	28,143	24,464	27,031	24,187	27,176	26,803
売上高	2,221	1,781	1,695	2,372	1,699	3,863	4,885	6,492	5,382	5,334	5,395	3,566
売上原価	1,865	1,438	1,398	1,946	1,557	3,330	4,233	5,353	4,640	4,401	4,246	3,215
売上総利益	355	344	296	424	141	534	653	1,139	741	935	1,148	350
売上総利益率	16.0%	19.3%	17.5%	17.9%	8.3%	13.8%	13.4%	17.5%	13.8%	17.5%	21.3%	9.8%
販売費及び一般管理費	100	138	167	180	144	266	154	260	200	214	193	334
営業利益	255	206	128	245	-3	268	499	879	541	721	955	15
営業利益率	11.5%	11.6%	7.6%	10.4%	-0.2%	6.9%	10.2%	13.5%	10.1%	13.5%	17.7%	0.4%
経常利益	276	212	161	259	28	269	513	882	566	719	973	19
税引前当期純利益	272	215	181	246	27	267	513	878	566	719	973	17
当期純利益	120	136	138	181	15	182	351	616	385	492	666	64

損益計算書 (四半期)

Techno Smart

(百万円)	21年3月期				22年3月期				23年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,221	1,781	1,695	2,373	1,699	3,863	4,885	6,492	5,382	5,334	5,395	3,566
ディスプレイ関連	342	189	132	757	439	379	1,055	3,354	1,548	2,166	2,776	974
機能性フィルム関連	1,309	1,059	1,032	834	411	1,581	2,554	2,144	2,362	1,540	598	757
エネルギー関連	267	138	270	230	141	1,012	753	659	1,253	1,253	1,225	805
その他	303	395	261	552	708	891	523	335	219	375	796	1,030
売上原価	1,866	1,437	1,399	1,947	1,557	3,330	4,233	5,353	4,640	4,401	4,246	3,215
売上総利益	356	344	296	425	141	534	653	1,139	741	935	1,148	350
売上総利益率	16.0%	19.3%	17.5%	17.9%	8.3%	13.8%	13.4%	17.5%	13.8%	17.5%	21.3%	9.8%
販売費及び一般管理費	100	138	167	180	144	266	154	260	200	214	193	334
営業利益	255	207	128	246	-3	268	499	879	541	721	955	15
営業利益率	11.5%	11.6%	7.6%	10.4%	-0.2%	6.9%	10.2%	13.5%	10.1%	13.5%	17.7%	0.4%

貸借対照表 (通期)

Techno Smart

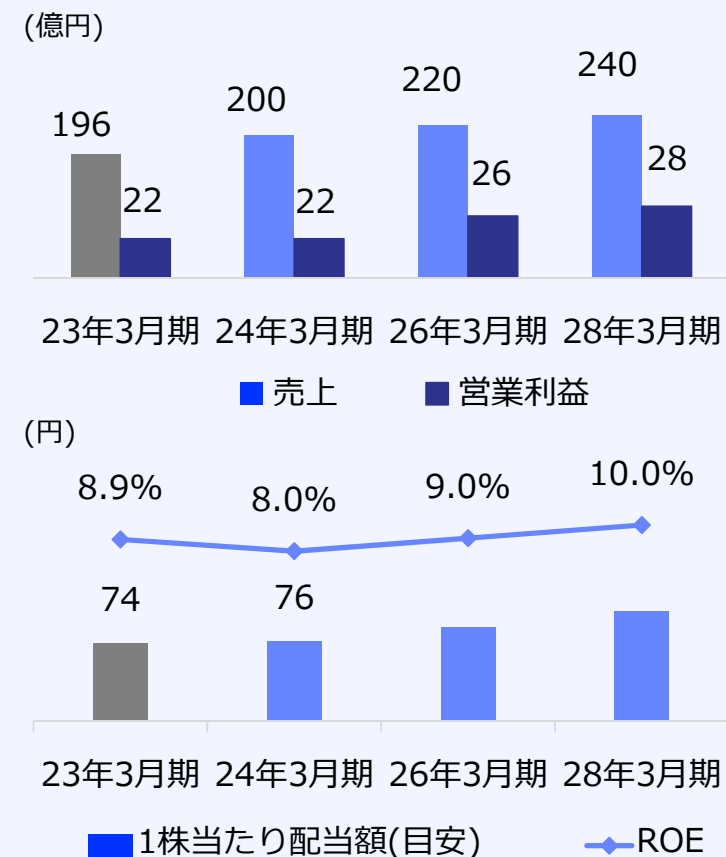
(百万円)	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期
総資産	16,038	15,388	15,830	18,364	19,391	24,435	22,926	22,186	29,316	27,909
流動資産	11,671	11,073	11,707	13,933	14,840	19,863	17,711	16,652	23,204	21,621
現金及び預金	5,364	2,269	5,305	5,606	5,493	6,076	6,188	10,461	10,638	9,583
売上債権	6,009	8,585	5,954	7,862	9,081	13,119	10,952	5,572	11,078	11,381
棚卸資産	181	122	268	265	234	252	282	252	552	535
固定資産	4,367	4,314	4,123	4,430	4,551	4,572	5,214	5,534	6,111	6,287
有形固定資産	3,059	2,976	2,940	3,072	2,977	3,044	3,673	3,925	4,508	4,447
総負債	6,143	5,167	5,666	7,440	6,558	9,461	6,497	5,450	11,910	9,331
流動負債	4,771	3,984	4,214	5,971	5,205	8,178	5,225	4,129	10,563	7,923
仕入債務	3,138	2,872	3,188	4,218	3,526	6,184	3,113	2,325	8,060	5,008
前受金	329	169	44	639	676	758	744	1,458	1,597	1,729
固定負債	1,372	1,182	1,451	1,468	1,352	1,283	1,272	1,300	1,347	1,407
純資産	9,894	10,220	10,164	10,923	12,832	14,974	16,428	16,736	17,405	18,577
株主資本	8,617	8,805	8,877	9,432	11,230	13,502	15,003	15,140	15,879	16,945
評価・換算差額等	1,277	1,415	1,287	1,491	1,594	1,471	1,424	1,596	1,525	1,631
有利子負債	779	752	1,016	841	547	194	82	2	0	0
自己資本比率	61.7%	66.4%	64.2%	59.5%	66.1%	61.3%	71.7%	75.4%	59.4%	66.6%
1株あたり純資産	933.8円	964.6円	959.4円	1,031.0円	1,118.6円	1,208.1円	1,325.4円	1,350.2円	1,415.7円	1,510.9円

数値目標総括

Techno Smart

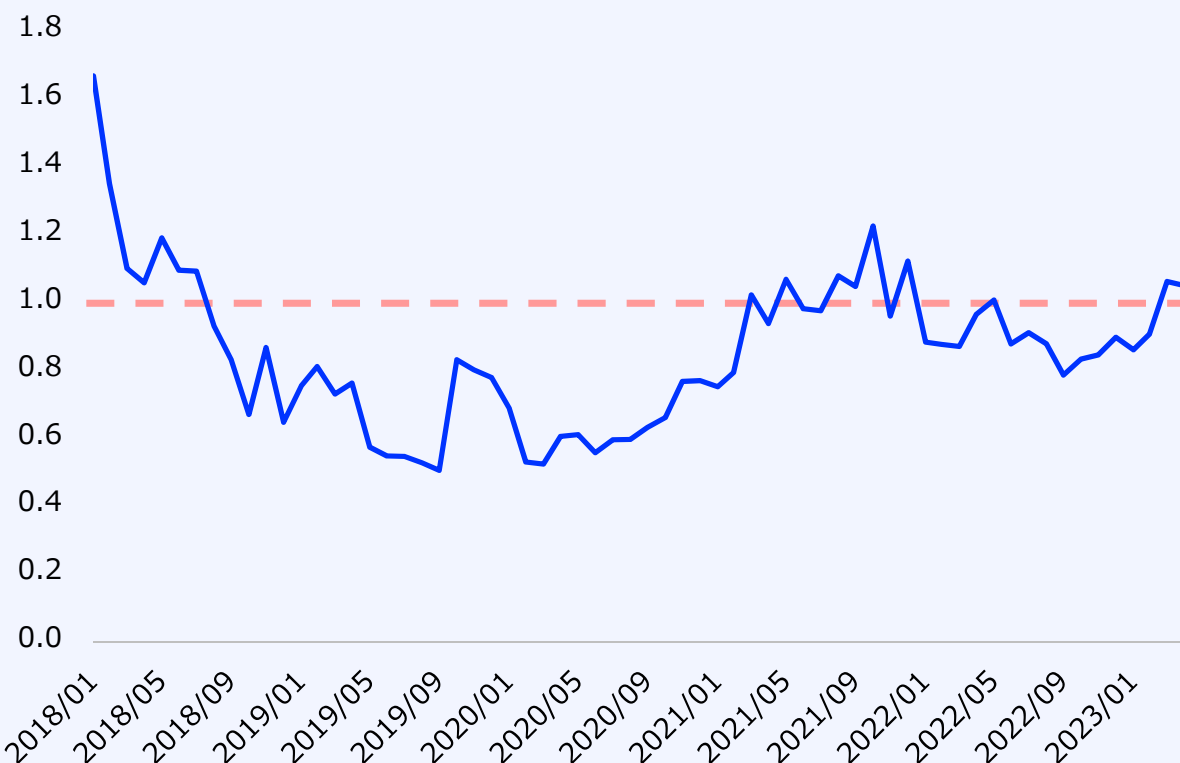
今中期経営計画における各数値目標は以下の通り

	23年3月期 実績	24年3月期 計画	25年3月期 計画	26年3月期 計画	28年3月期 目標
売上高	196億円	200億円	210億円	220億円	240億円
営業利益	22億円	22億円	25億円	26億円	28億円
ROE	8.9%	8%以上	8.5%以上	9%以上	10%以上
DOE	5.1%	5%以上			
配当額 (目安)	74円	76円	75円から105円程度		

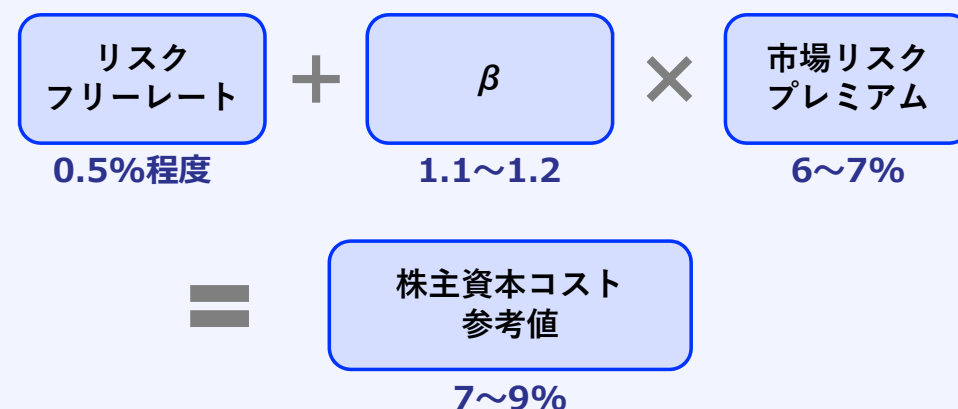


中期経営計画発表後PBRは1倍を上回る推移。一定の評価と期待を頂いているものと捉え、引き続き企業価値の向上及び最大化に取り組む

2018年1月来PBR推移（倍）



当社の株主資本コスト(参考値)の前提について



- ✓ 客観的な資本コストの参考値の一つとしてCAPMを使用
- ✓ リスクフリーレートは国内の長期金利を使用
- ✓ β 値については当社の2年週次 β や同業種 $\beta^{(1)}$ を使用

注：SPEEDAより作成。PBR=時価総額(自己株式調整後) / 株主資本等合計(年度実績)

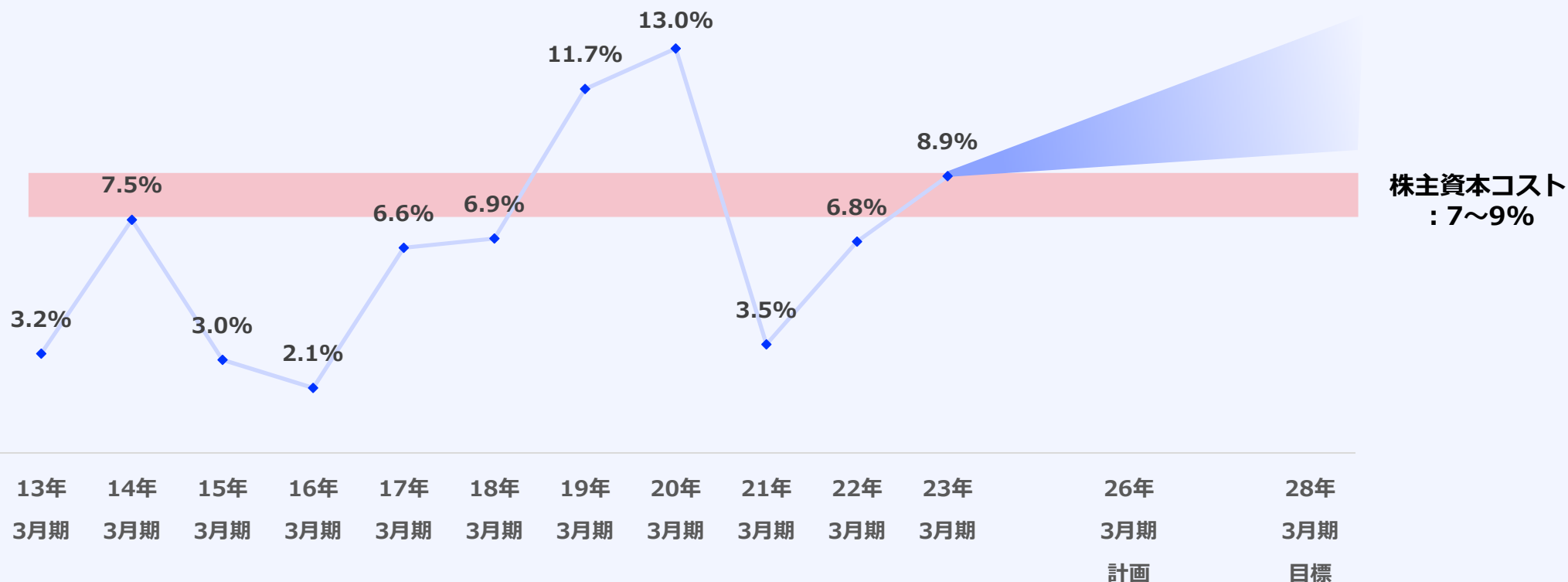
注：(1) 日経NEEDS等を基準に算出

企業価値向上のための目標ROE

現在のROE水準は市場の求める株主資本コストを十分に上回ることは出来ていないという認識
引き続き収益性の向上とバランスシートの効率化を通し、株主資本コストを十分に上回るROEの実現を目指す

持続的に株主資本コストを上回るROE水準を目指す

目標ROEと株主資本コスト



ESG

当社の事業領域、特に中期経営計画で志向している領域はESGのそれぞれとも関係が深いと認識
これまで以上に環境負荷や所属社会との連携、ガバナンス・資本効率の強化に向けて取り組む計画

環境 Environment

CO2排出量を筆頭とする
環境負荷の低減への寄与

- ① 次世代エネルギー・次世代自動車の発展への寄与
- ② 新実験棟での太陽光発電の設置計画等、事業活動におけるCO2排出量の削減
- ③ 環境負荷の低い塗工・乾燥装置の研究・開発

社会 Social

地域社会との共生と
持続可能な発展

- ① コロナ禍で一時中止していたインターシップの受入再開に向けた取り組み
- ② 事業活動を行っている地域における環境負荷に関する報告や行事取組

ガバナンス Governance

社会の公器として求められる
コーポレートガバナンスの実現

- ① 全てのステークホルダーに対して報いるための、資本効率を意識した経営の徹底
- ② 実効性の高い取締役会組成と経営の透明性・効率性の向上
- ③ 業績連動型報酬制度の導入



Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

免責事項

将来予測について

本資料で提供されている情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社が属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および推測に基づく見込みは、将来における実際の成果および業績とは異なる場合があります。ご了承ください。